



## ともだち50人できるかな～令和5年度入学式～



4月6日(木)に、令和5年度入学式を開催し、51人の新入生を迎えました。

大きな体育館での入学式、新入生は緊張からか、少しそわそわしつつ、新担任から名前を呼ばれると、元気に「はい」と返事していました。

また、校長先生の式辞をしっかりと聞いて、話の途中で「はい」と返事する姿が、とてもかわいらしく、そして頼もしく感じました。

式後には1年生の教室に行って、先生のお話を聞いたり、これから授業で使う教科書を確認したり、ランドセルに入れたりしました。

小さな身体で大きなランドセルを背負う新入生たち。まだ幼さ残る時期ですが、その目は、将来の夢・希望を見ているかのように輝いていました。家族の宝、地域の夢の、かけがえのない51人です。50人のお友だちみんなと仲良くなって、大好きな、もっと行きたい日の出小学校になったらいいですね。

## 令和5年度のスタートを迎えて

ここ十数年、少子化や高齢化、国際化、経済力の低下など、社会は急激に変化しております。本校でも、20年前に比べて児童数が約6割に急減しており、今後の見通しがつかない状況です。目の前にいる子供たちが、これから向かおうとする将来は、いったいどのような社会なのでしょう。

そのような予測困難な将来を、子供たちがたくましく生きるためには、様々な人と理解し合い、手を取り合い、知恵を出し合い、支え合い、共に進むことのできる「社会性」の育成が大切だと考えます。

子供たちにとって学校は、様々な先生や様々な友達が集う小さな社会です。だからこそ、様々な人とのかかわりを通して社会性を育成するために最適の場と考えます。日々の学校生活の中で、多くの友達・様々な友達と、話し合ったり協力したりしながら学習・活動を充実していく…、時には互いの違いを受け入れられないこともあるかもしれません。そのときを成長の機会ととらえ、望ましい力を育てていけたらと考えております。

今年度も本校教育活動へのご理解・ご協力を、よろしくお願いいたします。

二度目の日の出小学校勤務となった初日の令和5年4月3日、久しぶりに本校職員として眺める校庭、昇降口、廊下…あらゆるものから、十数年前の子供たちの様子が脳裏によみがえってきました。

誰もいない教室に入ると、子供の机が整然と並んでいました。ふと、その中に、十数年前にもあった机を見付けました。これまでずっと子供たちに大切にされてきたのでしょうか。まだまだきれいな机です。この机は、子供たちが学習したり、この机を囲み談笑する姿を、ずっと見守ってきたのですね。その様子は毎年変わらなくても、あの頃の子供たちは今、たくましい大人に成長し、家族、地域、そして社会を支えているのです。

このおよたりの紙名は「ゆずりは」です。新しい葉が古い葉と入れ替わるように出てくる性質から、代々受け継ぐ縁起物として古来から大切にされてきた樹木「ゆずりは」の名前に由来した名前です。

多くの先生や様々な友達との学習・交流を通して、将来に大切なことを学び成長する、そんなかけがえのない若葉たち一枚一枚を支える幹として、これからもしっかりと根付いていきたい、子供たちに代々使われてきた机を見つめながら、そんな思いを強く自覚しました。

この度、新たに10名の教職員が赴任しました。子供の健やかな成長をしっかりと支えていきたいと思えます。よろしく願いいたします。

---

---

## 新たに赴任した教職員の紹介

---

---